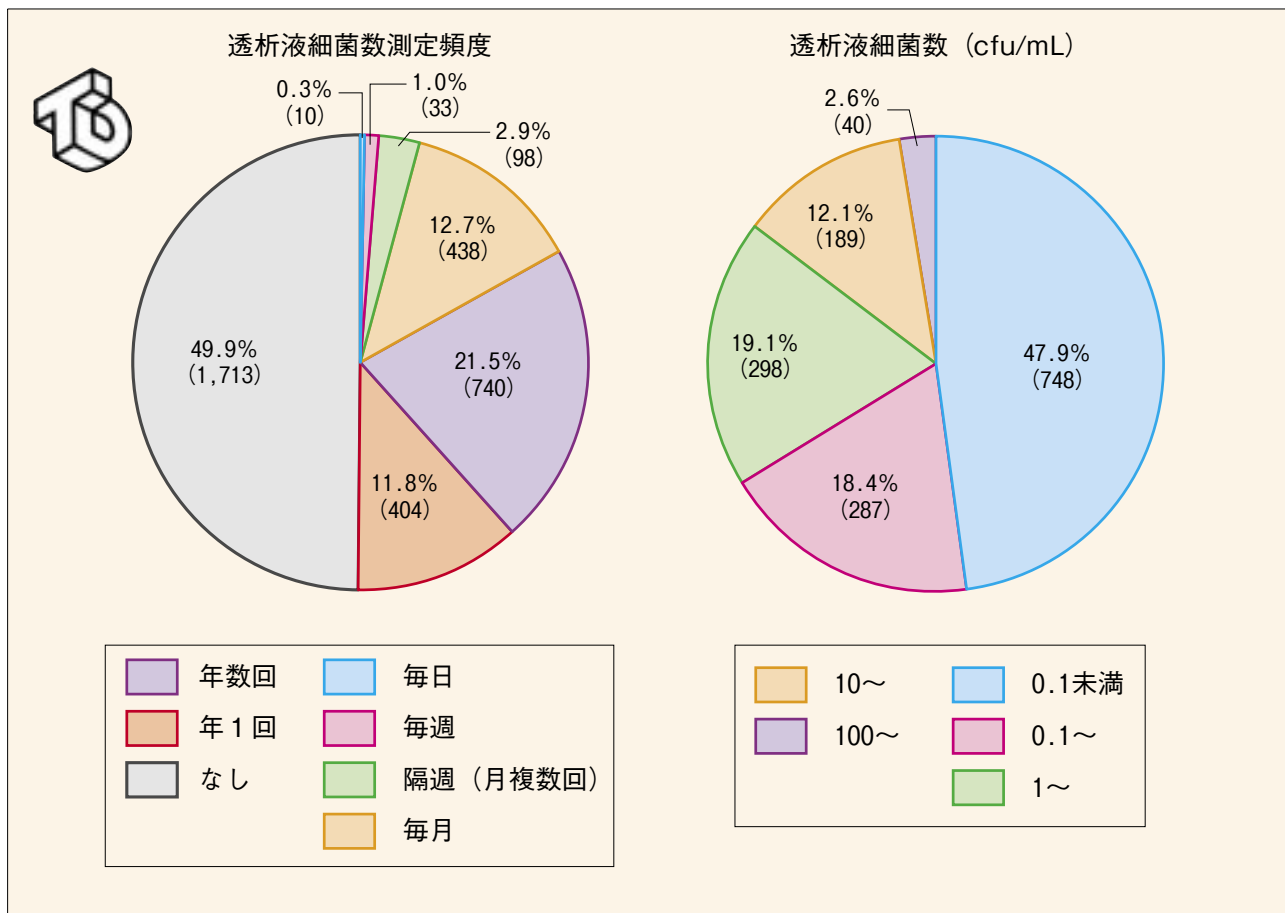


# 1) 透析液水質管理状況

## (2) 透析液細菌検査 1) (図表23)



透析液細菌数測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数	10	33	98	438	740	404	1,713	3,436	412	202	4,050
頻度 (%)	0.3	1.0	2.9	12.7	21.5	11.8	49.9	100.0			

透析液細菌数 (cfu/mL)	0.1未満	0.1~	1~	10~	100~	合計	不明	記載なし	総計
施設数	748	287	298	189	40	1,562	548	1,940	4,050
頻度 (%)	47.9	18.4	19.1	12.1	2.6	100.0			

施設調査による集計

### 解説

透析液細菌検査の測定頻度については3,436施設から回答が得られ、50.1%の施設において細菌検査が行われており、これは2006年末の37.1%より格段に施設数が増加した。日本透析医学会の水質管理基準では透析液細菌検査は月1回以上の頻度で行うことを推奨しているが、月1回以上の測定は回答施設の16.9%で行われているのみであり、日常業務に細菌検査業務を組み込む必要がある。

透析液細菌数については1,562施設から回答があり、97.4%の施設において日本透析医学会の水質管理基準100cfu/mL未満は達成されていた。超純粋透析液を担保する0.1cfu/mL未満は47.9%で達成されていた。